

医仁会武田総合病院

地域医療連携室だより

救急告示病院 臨床研修指定病院

医療法人 医仁会 **武田総合病院** 発行

京都市伏見区石田森南町28-1

TEL 075-572-6331 (代表電話)

理念

- 思いやりの心

基本方針

- ブリッジ・ザ・ギャップス
- 患者さんの権利尊重
- 信頼の医療に向けて
- 地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ① 省資源・省エネルギー
- ② 廃棄物の減量化
- ③ リサイクルの推進
- ④ 安全性・快適性の推進
- ⑤ 環境広報活動の推進

今月の特集

～超音波内視鏡下穿刺生検導入のお知らせ～

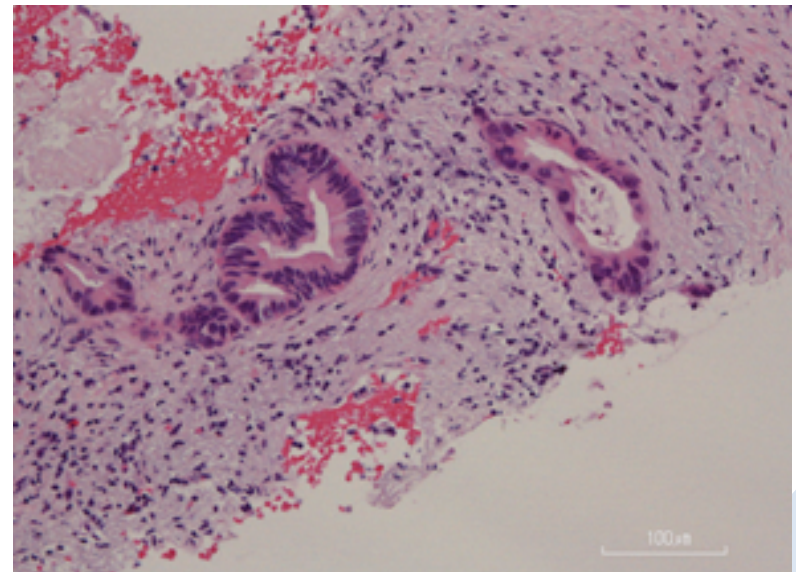
平素は当院の運営にご尽力賜りありがとうございます。

今月は当院**消化器センター**の**超音波内視鏡下穿刺生検（EUS-FNB）**をご紹介します。

食道、胃、十二指腸、直腸などに挿入したコンベックス型の超音波内視鏡を用いて、病変を穿刺し検体を採取するという技術であり、武田病院グループの中では当院が初めての導入になります。今まで外科手術前や抗癌剤治療前に、病理学的な確定診断が困難であった膵癌症例に対してすでに実施しており、添付画像のように正確な病理診断ができております。

以前は超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診（EUS-FNA）という方法が一般的でしたが、近年の穿刺針の進化により、組織検体を採取することが可能となりました。当院でも、最新の穿刺針を採用し、組織診による正確な病理診断を目指しております。

つきましては、裏面のような対象疾患の患者さんがおられましたら、一度当院消化器内科の方にご紹介いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



超音波内視鏡下穿刺生検の適応疾患

- 膵癌、膵腫瘍、自己免疫性膵炎（I g G4関連性など）、消化管粘膜下腫瘍
- 縦隔・腹腔内リンパ節腫大（S t a g i n g目的、術後再発、悪性リンパ腫、結核、サルコイドーシスなど）
- 経皮的な穿刺が難しい肝腫瘍（主に左葉）、経皮的な穿刺が難しい微量腹水
- 縦隔腫瘍、腎腫瘍、副腎腫瘍（褐色細胞腫と傍神経節腫は禁忌）、後腹膜腫瘍、骨盤腔内腫瘍

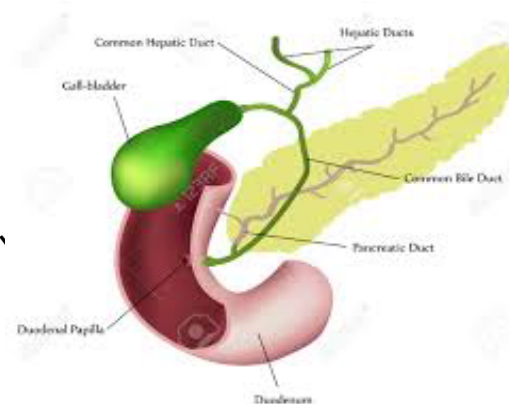
膵癌について

膵癌は、早期発見が非常に難しく、発見時にはすでに根治が難しい状況となっているケースがほとんどです。日本膵臓学会より、下記のようなリスクファクターが提示されており、このような患者さんを対象として、定期的なスクリーニングを行うことが膵癌の早期発見には重要だと考えられております。

膵癌を最も早期に発見できるモダリティとして超音波内視鏡が注目されており、当院でも積極的に膵癌のスクリーニングとして使用しております。つきましては、下記のような対象の患者さんがおられましたら、一度当院の受診をお勧めいただければ幸いです。

【膵癌のリスクファクター（日本膵臓学会）】

- 合併疾患：糖尿病、慢性膵炎、遺伝性膵炎、膵のう胞、肥満、膵管内乳頭粘液性腫瘍（I P M N）
- 家族歴：膵癌、遺伝性膵癌症候群



【連絡先】地域医療連携室

フリーダイヤル:0120(72)6530

TEL : 075(572)6530

FAX : 075(572)6276

(Email) : renkei-i@takeda.or.jp

(URL) <http://www.takedahp.or.jp/ijinkai/>

～地域医療連携室より一言～

平素よりお世話になっております。

今号では消化器内科の超音波内視鏡下穿刺生検導入についてご案内をさせていただきました。

今後も、先生方との連携がよりスムーズに行えるよう、調整に努力させていただきます。